

応援します。地域のまちづくり！



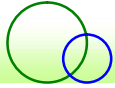
風しんぶん

新しくなりました！

創刊号

H22.8

浜松まちづくり推進センター通信



ご挨拶



浜松まちづくり推進センター センター長 石川 岳男

浜松まちづくり推進センターは、都市計画やまちづくりに関する様々な取り組みを行うことを目的として、今年4月に(財)浜松まちづくり公社が独自に設置したものです。これまでは『浜松まちづくりセンター』として親しまれてきた施設の管理者として同様の活動をしてきましたが、施設の位置づけが変わったことを契機にして、新たに名称にも「推進」を入れ、一層の活動展開の拡大を目指しています。

浜松まちづくり推進センターは、地域のまちづくり活動支援、まちづくりの普及啓発、まちづくりの調査研究の3本柱を基本として、様々な市民や団体と連携を取りながら、浜松市の豊かな地域環境の醸成と活発な市民のまちづくり活動の展開を目指していきます。

まちづくりという言葉が広まってから、かれこれ50年が経ちますが、現在ほどその言葉の必要性が高まっている時期はないでしょう。政治の迷走、時代の閉塞感、行財政の疲弊など、どれを取ってもすぐに解決できないものばかりです。こうした時代あっては、社会に目を向け、市民自らが貢献できる分野において、周りの人と連携して地域や社会に対して具体的にはたらきかけていくことが必要だと考えます。そうした行動こそがまちづくりの原点と言えるでしょう。まちづくり推進センターは、そうした市民の活動を支援し、浜松がもっと賑わい、もっと楽しく、もっと美しくなることを目指して活動していきます。

また、都市や地域を取り巻く環境には多くの制約、規則やルール、人々の想いが複雑に絡まり合っているため、解決しにくい課題がたくさんあります。こうした課題を一つひとつ解決し、地域の環境を向上させていくことも浜松まちづくり推進センターの役割の一つであると考えています。そのために、地域住民と十分に話し合い、必要に応じて行政や大学、企業などと連携しながら、一つひとつ地域の課題を解決していきます。そういった活動にはある程度の時間がかかりますが、そこでかかる時間と住民とともに流した汗そのものがその後の地域の資産にもなっていきます。浜松まちづくり推進センターでは、今後も地域住民のそうした取り組みを積極的に支援していきたいと考えています。

多くの市民、関係者、関係団体にとって、浜松まちづくり推進センターが必要とされるように頑張りますので、これからも浜松まちづくり推進センターをよろしくお願い致します。

人と地域を応援します



まちづくり支援の3本柱

まちづくり活動の支援

- ・ 相談窓口
- ・ 地域のまちづくり活動支援

まちづくりの普及啓発

- ・ まちづくりフォーラムの開催
- ・ まちづくり情報発信
- ・ まちづくり学習支援

まちづくりの調査研究

- ・ まちづくり研究
- ・ まちづくりニーズの調査

「浜松まちづくり推進センター」に寄せる期待



静岡文化芸術大学 文化政策学部 文化政策学科 教授 阿蘇 裕矢

「まちづくり」という言葉は、すでに定着した感がある。しかしながら、その意味は必ずしも十分に理解されていないようである。ひらがなの「まちづくり」が生まれた背景には、^{おかみ}御上^が、上から下に向かって統治してきた時代から脱却するといった意味合いがある。今風にいえば、ガバメント（上 - 下・統治）からガバナンス（水平的ネットワーク型・統治）へ移行してきたということである。市民が主体的かつ自律的に「まちづくり」を行うことが、極めて重要になっている。

少々面倒な説明かもしれない。「まちづくり」は、市民やNPO、さまざまな団体、企業、行政などのいろいろな立場の人たちが交流を深め、発展するプロセスのなかで展開され、構築されていくものである。そこで生活し、暮らしている人と人、人とまちの関係性を再創造していくことに価値をおいた活動が「まちづくり」ということである。

さて、「まちづくり推進センター」の前身である「浜松まちづくりセンター」は、8年前に行政と市民の中間的な立場で、ソフト・ハードの両面からまちづくりを行う施設として設立された。こうした施設は、国の分権化の流れの中で自治行政を展開する上で極めて重要となっている。

しかしながら、今年の3月をもって「浜松市市民協働センター」と「浜松まちづくり推進センター」に改組されることになった。この背景には、本市における「協働」と「まちづくり」への要請が多様化、高度化してきたことがあげられる。「市民の協働」

は、主体的な市民社会への移行に向けたいわば訓練のようなものであり、一方、「まちづくりの推進」は、生活空間のソフト・ハードに関わる問題・課題解決に向けた調整・啓発プログラムの実践ということができる。

いずれも浜松市の重要な政策である。特に、まちづくり推進センターは、成長・発展する浜松の都市の課題や問題を解決し、真に個性的で豊かなまち（生活空間）をつくっていくために極めて重要な役割を担っている。たとえば、混乱した土地利用の整序、街並みや古い建築物の保全、すぐれた自然環境の保護・保全、耕作放棄地の問題、高層建築物の日照権、景観問題など、多くの問題が持ち込まれ、多くの問題や課題を解決してきた実績がある。こうした問題について、センターのスタッフは、市民とともに一緒に考え、解決策を導きだしてきた。

すでに全国各地で市民的な感覚による「まちづくり」が数多く展開されている。そうした自律的な“まち”は、市民の主体的なまちづくり活動から芽生えている。市民一人一人が「まちづくり」を学び、それらの力を連携しながら新しい市民の力を生み出していくことが求められている。そのためには、意欲的に「まちづくり」について学ぶ市民が一人でも増えて、活動を起こすが大切である。「浜松まちづくり推進センター」には、こうした市民のニーズを喚起し、問題・課題の解決プロセスを通じて、自覚と責任ある市民社会づくりに貢献していくことが期待されるのである。



～ にぎわいと安らぎのある都心空間～ アクト通り



浜松まちづくり推進センターは、東地区土地区画整理事業(S62～H20年度)により整備された新しいまち「イースタウン」にあります。今回はこの事業により誕生したシンボル道路のひとつ、「アクト通り」について紹介します。

イベント会場、散歩コースとして人気スポット

アクト通りは、アクトタワーから北に延び、国道152号線を横断して六間通りまでの南北約800m。道路の幅員は40mですが、車道は双方一車線ずつで、歩道も広く幅員18mの中央分離帯を配し、ケヤキやメタセコイアを中心に多くの街路樹が植えられたゆとりある歩行者空間となっています。南側はイベントや市民活動のできる「にぎわい空間」、中央部分にはロータリーを配し、隣接する東ふれあい公園と共に噴水や照明のある「シンボリック空間」、北側は池や休憩施設を配した散歩を楽しめる「やすらぎ空間」として、大きく3つのゾーンに分かれています。



にぎわいと安らぎのあるまちへ…

みなさんは、土地の利用方法や建物の建て方についての約束事を地域住民の合意により市に申出て定めることができる制度「地区計画」をご存知でしょうか？アクト通りでは「浜松の顔」として景観に配慮し、人がにぎわい魅力ある歩行者空間になることを目指して、下記のような地区計画が定められています。

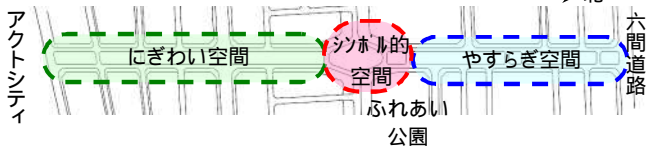
- ・ブロック塀は作らず、植栽またはフェンスとすること
- ・建物は街並みと調和した落ち着いた色にすること…等
(以下、南部ゾーンのみ)
- ・1階、2階は住宅ではなく店舗や事務所にすること
- ・道路との境界から建物を1m以上離すこと
- ・建物の高さを10m以上にすること…等

中央ロータリー西側は「シビックコア地区」として位置づけられ、県の合同庁舎、国の合同庁舎、地域情報センターなどの官公庁施設が建ち並んでいます。また、オープンカフェ、ウナギ屋さん、中華料理店などの飲食店も多く、私たちのお腹もおいしく満たしてくれるまちでもあります。



散歩やウォーキングの日常や、休日にはイベント開催などで多くの人が集まるため、トイレ、案内標識、休憩スペースなど、ユニバーサルデザインに配慮した整備がされています。また、国道との交差部分は地下道を配し、エレベーターやスロープが整備され、歩行者、車イス、ベビーカーなどが安全に通行できるようになっています。

アクト通りはまだ成長途中です。みなさんも魅力あふれるこの「都会のオアシス」を一度訪れてみてはいかがでしょうか？



市民・行政・大学・企業の協働によるまちづくり

「アクト通り」という愛称は、まちの愛称「イースタウン」とともに平成13年に市民公募を経て決定されました。地区内には同じく公募により名付けられた「公園通り」「学園通り」と併せて3本のシンボル道路があります。

アクト通りの整備については、平成13年度に開かれた市民ワークショップによる提案をもとに市の検討委員会を経て静岡文化芸術大学が基本計画案をまとめました。

現在では地域のボランティア団体「アクト通り花クラブ」のみなさんが、アクト通りやふれあい公園の花壇に花を植えたり水やりをしたりしています。

また、年間を通して、やらまいかミュージックフェスタ、浜松よさこい祭、緑化祭、地域の夏祭りなど、中央のロータリーや公園を中心に多くのイベントが開かれています。イベントの主催者は、市民・行政・大学・企業、あるいはその共同体など様々。まさに協働によるまちづくりの一例と言えるでしょう。



このまちのあの人から“一言コーナー”



佐野好則さん
中区中央一丁目
イースタウン在住

朝日に映えるアクトタワーとともに私たちの一日が始まり、夕日に照らされ、夜景を彩るアクトタワーとアクト通りを眺めて一日の疲れを癒します。訪れた人が自然とレンズを向けてシャッターを押す、そんな品のある絵になる風景は、私たち地域住民の、そして浜松の誇りです。

人とまちの成長に少しでも寄与できたらと思ひ、花壇の世話やイベントの開催などをお手伝いさせていただいています。

イベントのご案内

地域のまちづくり相談会

「落ち着いた住環境を守りたい」「きれいな街並みにしたい」「農業環境を改善したい」「地域の活性化をしたい」など、地域のまちづくりについての相談に応じます。

日 時 : 平成22年9月11日(土) 午前10時～午後4時
場 所 : 浜松市市民協働センター 2階 第1研修室 (中区中央一丁目13番3号)
申 込 : 当日、直接会場へお越し下さい。(無料)
問合せ : 浜松まちづくり推進センター

都心再生フォーラム オフ会(9/12) & フォーラム 第4弾(9/25) 夢ある都心再生を目指して! 市民から提案しよう

【オフ会】

浜松の都心再生に向けて皆さんで自由に議論しませんか!
詳しくはホームページ等でお知らせいたします。 URL: <http://www.hamamatsu-machi.jp/center/>

日 時 : 平成22年9月12日(日)午後2時～午後4時くらいまで
場 所 : 静岡文化芸術大学(予定)
申 込 : 当日、直接会場へお越し下さい。(無料)

【フォーラム 第4弾】

都心再生に向けた取り組みや具体的な市民提案について参加市民と市議員との討論会です。

日 時 : 平成22年9月25日(土)午後1時30分～午後4時30分
場 所 : 静岡文化芸術大学 南280講義室(中区中央二丁目1-1)
申 込 : 当日、直接会場へお越し下さい。(無料)
問合せ : 浜松まちづくり推進センター

車に乗らない1週間 ～環境にやさしい生活を体験しよう～

通勤や買い物などで日常的に車に乗っている方に、一週間だけ、できるだけ車に乗らずに生活してもらおうというチャレンジです。(実施期間9月6日(月)～30日(木))

【説明会】

参加者は説明会への出席が必要です。

日 時 : 平成22年9月4日(土)午後1時30分～
場 所 : 静岡文化芸術大学(中区中央二丁目1-1)
申 込 : 電話、FAXまたはEメールで交通政策課へ
TEL: 457-2441 FAX: 457-2345
Eメール kotsu@city.hamamatsu.shizuoka.jp

～ 期間中、電動アシスト自転車、自転車または遠鉄ナイスパス(3300円分)を提供します ～

参加者募集!



浜松まちづくり推進センター通信「New 風しんぶん」

発行: 浜松まちづくり推進センター(平成22年8月)

〒430-0929

浜松市中区中央1-2-1 イーステージ浜松オフィス棟7階

(財)浜松まちづくり公社内

TEL: 053-457-2614

FAX: 053-452-9620

Eメール: suisin@hamamatsu-machi.jp

URL: <http://www.hamamatsu-machi.jp/center/>

